ＧＲＯＭ用　スピードセンサーキット　取扱説明書

商品番号：０５－０６－００１７（純正リアキャリパーブラケット装着車用）
　　：０５－０６－００１８（武川リアキャリパーブラケット装着車用）
適応車種
ＨＯＮＤＡ
ＧＲＯＭ（ＪＣ６１－１０００００１～）
ＭＳＸ１２５

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特　徴～

○ＧＲＯＭのリアホイール回転数を検知し、純正スピードメーターを駆動するスピードセンサーキットです。
　スプロケット変更や弊社製５速クロスミッションの組み付けを行っても、純正メーターに速度を表示する事が可能となります。
○車両のカスタム等により、タイヤ銘柄やタイヤサイズを変更した場合でも、純正メーター駆動ユニット本体に備えたロータリースイッチで設定する事により、表示速度を１６段階に補正する事も可能です。
○ＧＲＯＭ専用の取り付けハーネスにより、純正ハーネスを切断したりする事無く、カプラーオンで取り付けが可能です。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎日本仕様として正規販売されているＧＲＯＭ（ＪＣ６１）と、タイ仕様のＭＳＸ１２５（２０１３年式）にて動作確認をしております。
　ＭＳＸ１２５であっても、タイ仕様以外の他仕向地仕様への対応につきましては、弊社では分かりかねます。
◎純正ホイール・純正ディスクボルト以外での動作確認は行っておりません。
◎リアホイール回転数から速度を検知する為、タイヤ外径の変化やスリップなどの要因により、実速との誤差を完全に無くす事が出来るわけではありません。
　表示速度を増減補正する事が出来ますが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。
　公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
◎ノーマルのリアキャリパーブラケットは固体差が大きい為、キットのスピードセンサーホルダーがリアキャリパーブラケットに取り付け出来ない場合があります。その様な時は、ノーマルリアキャリパーブラケットを加工して頂く必要があります。予めご了承下さい。

☆ご使用にあたっての注意点☆

◎併用出来ない部品について。
　社外品のＨ.Ｉ.Ｄ.キットはバラスト／インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。
　社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。
　社外品の発電装置は発電量の不足や電圧波形の違いにより故障の原因となりますので、使用しないで下さい。

◎本製品は防水・防滴構造ではありません。
　本製品は防水・防滴構造ではありませんので、雨や水がかかると、本体内に水が浸入し故障する可能性があります。
　洗車時も同様にご注意下さい。本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。
　又、付属のスイッチ部分が透明のパネルを使用する際、湿度が高い時や急激な温度変化があった場合などに、本体が湿気を吸い込み、パネルの透明部分に曇りが発生する事があります。
◎本製品のボディーは樹脂製です。
　劣化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。炎天下の中など過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
◎絶対に分解しないで下さい。
　大変危険ですので分解や改造を行わないで下さい。又、お客様で分解された場合、点検や修理をお受けする事が出来なくなりますのでご注意下さい。
◎激しい衝撃を与えないで下さい。
　本製品に強い衝撃が伝わる事は行わないで下さい。
　衝撃により内部部品の脱落や断線による修理不能な故障や、本体ケース破損の恐れがあります。
◎お手入れについて
　頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。
　揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドを使用すると、樹脂部分の変質の恐れや、パネルが曇ってしまいますのでご注意下さい。

⚠注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

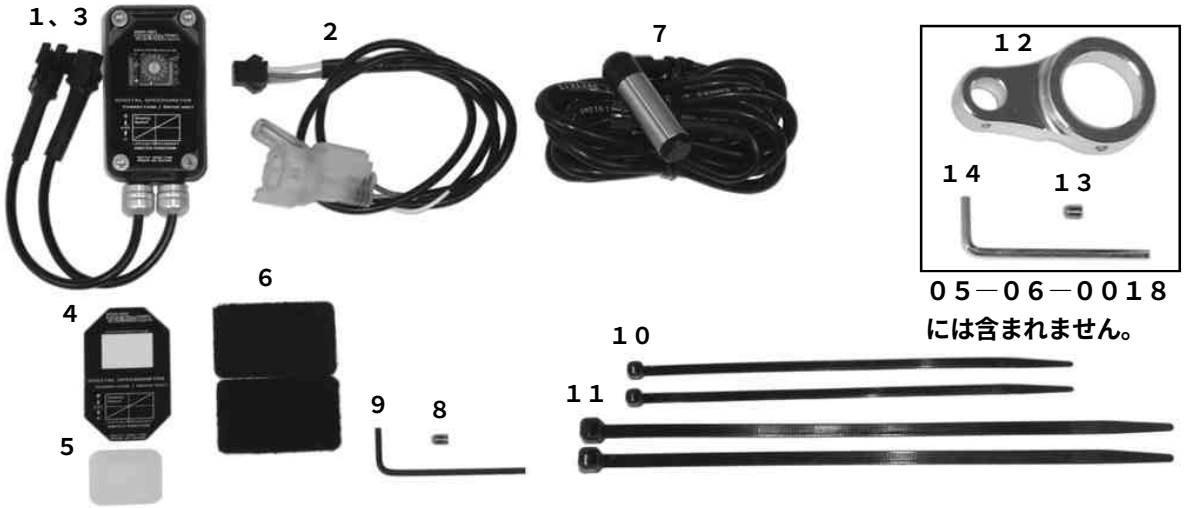
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
1	スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.	1	―――――――――	＼
2	ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.	1	３７５７０－Ｋ２６－Ｔ００	1
3	ＳＭＤパネル（スイッチ部　穴開き）	1※	３８７７５－ＳＭＤ－Ｔ００	1
4	ＳＭＤパネル（スイッチ部　透明）	1		
5	ラバーキャップ	1	００－０５－００４５	1
6	マジックテープセット	1	００－００－０１５０	1
7	金属反応式　速度センサー（１０００mm）	1	０５－０６－０００９	1
8	ソケットセットスクリュー　４×５	1	００－００－０５８３	5
9	６角棒レンチ　2mm	1	―――――――――	＼
１０	結束バンド　１５０mm（ブラック）	2	００－００－０１３５	１０
１１	結束バンド　２００mm（ブラック）	2	００－００－０２６９	１０
１２	スピードセンサーホルダー	1	４２３０１－Ｋ２６－Ｔ００	1
１３	ソケットセットスクリュー　５×６	1	００－００－０５０８	4
１４	６角棒レンチ　2.5mm	1	―――――――――	＼

※３．ＳＭＤパネル（スイッチ部　穴開き）は、１．スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.に出荷時貼り付け済みです。
※番号１２～１４の部品は、０５－０６－００１８には含まれません。
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取　り　付　け　要　領～

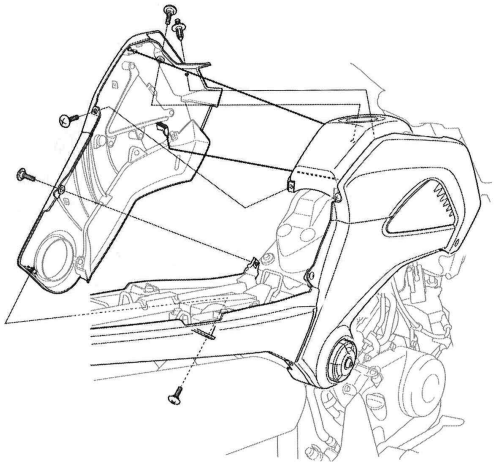
●はじめに

作業は水平な安全な場所でメンテナンススタンド等を用いて、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

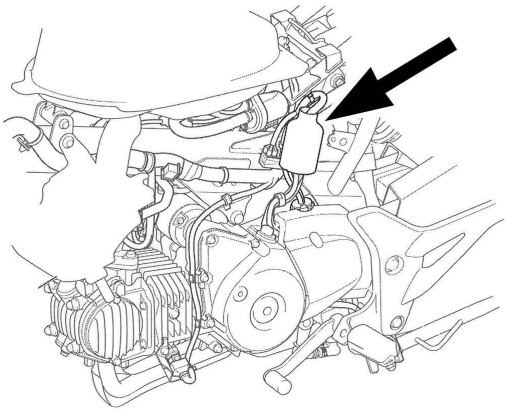
●外装部品などの取り外し

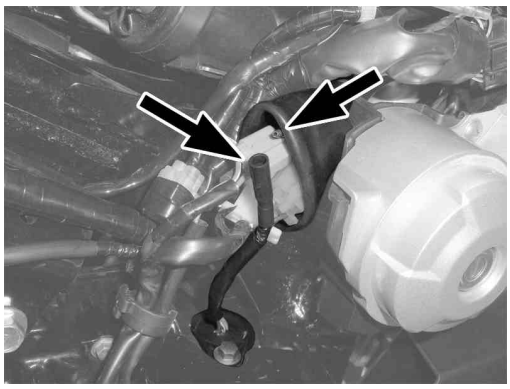
⚠注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順に従い作業を行って下さい。
またカバー類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

１．バッテリー　マイナス端子の接続を外しておきます。
２．純正サービスマニュアルを参照し、左シュラウドを取り外します。



３．車両進行方向左側　エンジン上部のコネクタカバー内にある　白／赤コードのギボシ端子接続を外しておきます。

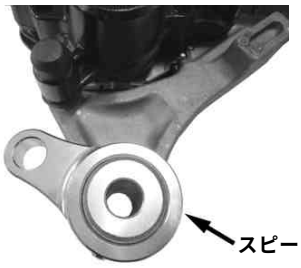




●スピードセンサーホルダーの取り付け

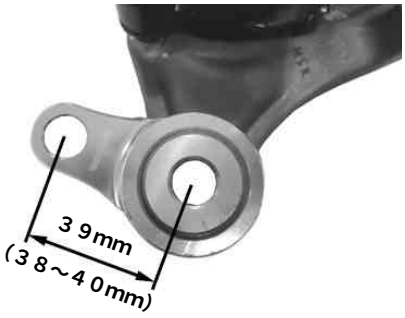
本作業は、０５－０６－００１７（スピードセンサーホルダー付き）のみです。
０５－０６－００１８（スピードセンサーホルダー無し）にはスピードセンサーホルダーが付属しませんので、別売りのリアキャリパーブラケットキット（ｂｒｅｍｂｏ　２Ｐキャリパー用）とセットでご使用下さい。

１．スイングアームより、リアホイールアクスル、リアホイールを取り外します。
２．リアブラケットサブＡＳＳＹ.にスピードセンサーホルダーを取り付けます。
※取り付け方向があるので、必ず“TAKEGAWA"マーキングをスイングアーム側に向く様に取り付けを行って下さい。



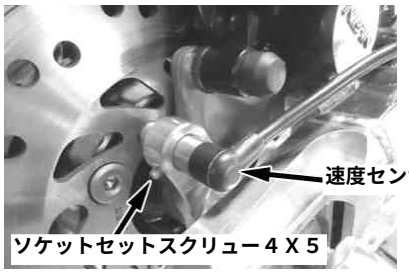
※ノーマルのリアキャリパーブラケットは固体差が大きい為、キットのスピードセンサーホルダーがリアキャリパーブラケットに取り付け出来ない場合があります。
スピードセンサーホルダーが取り付け出来ない場合は、ヤスリ等でリアキャリパーブラケットをスピードセンサーホルダーが取り付け出来るまで削って下さい。

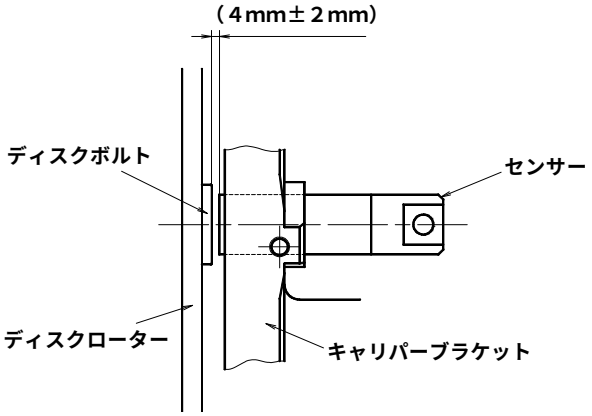
注）リアキャリパーブラケットを削る時、リアアクスルセンター穴からズレない様に加工して下さい。（スピードセンサーはディスクローターを止めているディスクボルトを検知させスピード表示させています。スピードセンサーとディスクボルトにズレが生じると正確な速度表示が出来なくなります。）

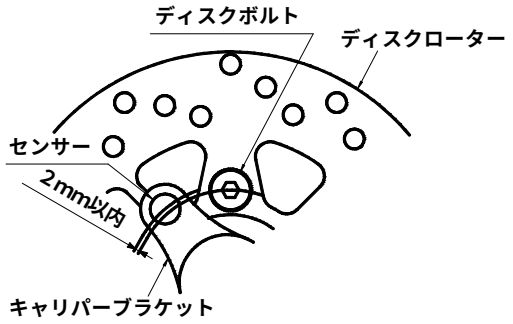


３．リアブラケットサブＡＳＳＹ．、リアホイール、リアホイールアクスルをスイングアームに組み付けます。
４．スピードセンサーホルダーを写真の位置に固定する為、ソケットセットスクリュー５Ｘ６にネジロック剤を塗布し締め付けます。

５．速度センサーをスピードセンサーホルダーに取り付けます。
※参考隙間寸法：４mm±２mm
※センサーの隙間の調整を行った後にソケットセットスクリュー４Ｘ５にネジロック剤を塗布し固定します。

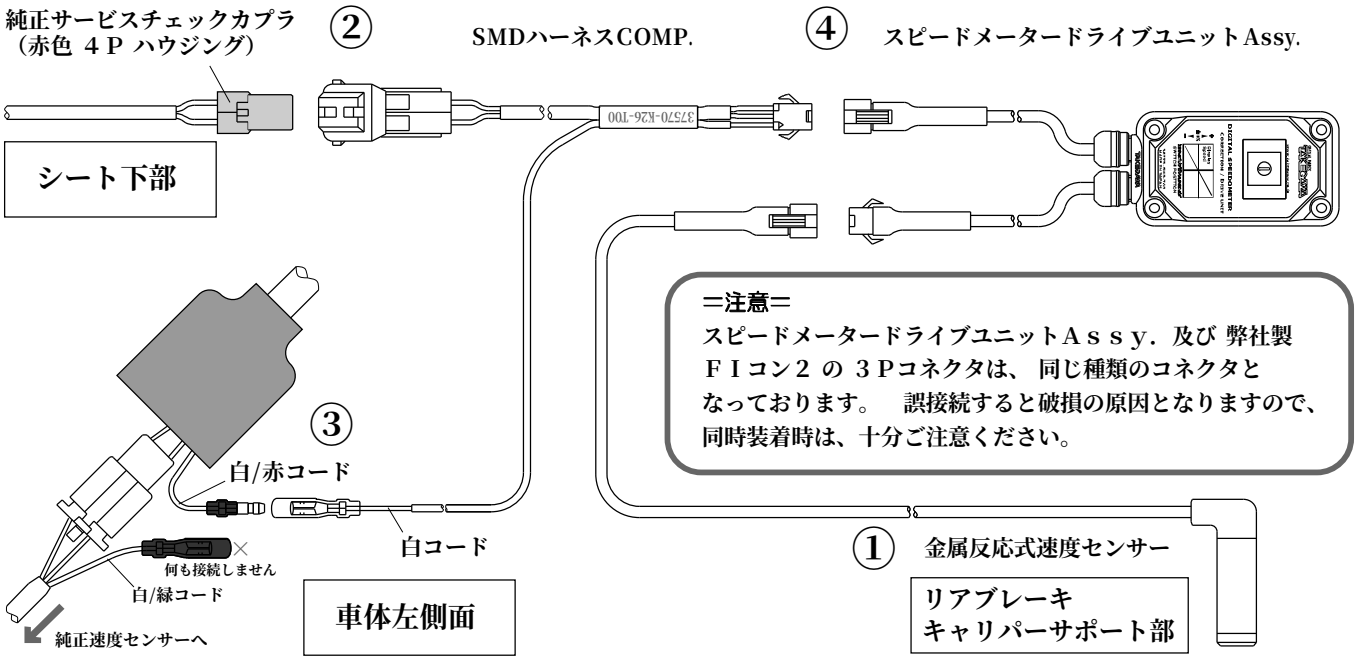






●スピードメーターードライブユニットの配線接続

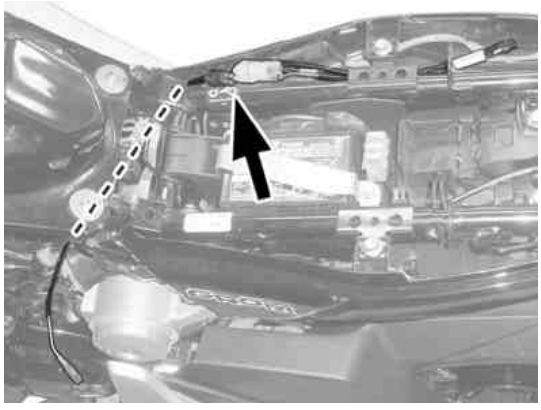
下図を参照し、ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.及びスピードメーターードライブユニットＡｓｓｙ.を接続します。



⚠ 注意：各ハーネス類を車両に取り付け接続する際、スイングアームが可動したりシートを脱着してもハーネス類を挟み込んだりしないように取り付けて下さい。

①金属反応式速度センサーのハーネスをスイングアームに沿わせ、ピボット部からシート下まで通しておきます。

②ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.の４Ｐハウジングを、シート下部分にある純正サービスチェックカプラ（図中矢印部分　赤色４Ｐハウジング）に接続します。



③ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.のメスギボシ端子付き白コードを車体左側面まで這わせ、エンジン上部のコネクタカバー内にある白／赤コードのオスギボシ端子に接続します。
車両側白／緑コードのメスギボシ端子側には何も接続しません。

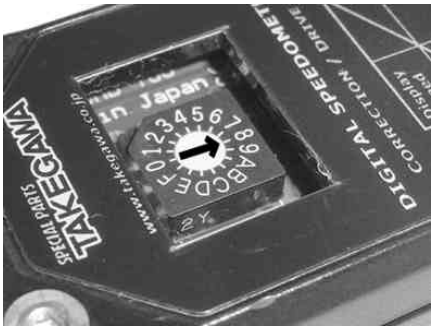
④スピードメーターードライブユニットＡｓｓｙ.から出ている３Ｐコネクタを、それぞれＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.と金属反応式速度センサーに接続します。

⚠ 注意：本製品に使用している３Ｐコネクタは、弊社製ＦＩコン２と同じ種類のコネクタとなっております。
ＦＩコン２を同時装着されている場合は、誤接続する事の無い様に十分注意を払って作業を行って下さい。

⑤配線に間違いなどが無いか確認し、問題なければバッテリーのマイナス端子を元通り接続します。

●動作確認

1．スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.のロータリースイッチを、“８"（増減補正無し）に設定します。



2．スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.を目視しながら、イグニッションキーをＯＮにします。エンジンは始動しなくても構いません。
3．ロータリースイッチ横にある緑ＬＥＤが１秒程点灯し消灯した後、もう一度１秒程点灯し消灯する事を確認して下さい。ＬＥＤが点灯しない場合は、ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.の接続を確認して下さい。
4．金属反応式速度センサーからコードが出ている部分には反応確認用の青色ＬＥＤが内蔵されています。車両を前後に移動させるか、メンテナンススタンドをお使いであればリアタイヤを回転させ、ディスクボルトの接近に応じて青色ＬＥＤが点灯・消灯するか確認して下さい。
　点灯も消灯もしない場合は、ディスクボルトと金属反応式速度センサーの隙間寸法を調整して下さい。

⚠注意：金属反応式速度センサーの隙間を調整した場合は、必ずタイヤを１回転以上ゆっくりと手で回転させて、センサーがどのディスクボルトにも干渉したりしない事をご確認下さい。

5．センサーが正しく反応する事が確認出来ましたら、タイヤを回転させて、純正スピードメーターの表示が１ｋｍ／ｈ以上を表示するか確認して下さい。
　また、金属反応式速度センサーからのパルス信号がスピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.へ正常に届いていれば、本体の緑ＬＥＤがパルスの感知に応じて点滅します。
6．問題なく純正スピードメーターが動作する事が確認出来れば、適宜ハーネスをタイラップで固定し、取り外した外装類を元通り復旧します。

●速度補正値の設定について

スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.にはロータリーコードスイッチを備えており、このスイッチの設定を変更する事により、純正スピードメーターの表示速度を増減補正する事が出来るようになっております。

弊社製スピードセンサーキットは、リアタイヤの回転数を感知して純正スピードメーターを動作させる方式となっている為、純正リアタイヤ・リアホイールをお使いであれば、スプロケットやミッションのギア比等を変更しても、表示される速度は基本的に変わりません。

しかしながら、リアタイヤの外径を変更するようなカスタムを行った場合は、補正が必要となります。
タイヤ外径を変更される場合は、下記表を参考にロータリースイッチの設定を行なって下さい。

⚠注意：本製品は、純正スピードメーターに表示される速度を増減補正する事が出来ますが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
　また下記表の設定値は、タイヤメーカーのカタログ値などを元に机上で計算した物となります。
　タイヤのサイズ表記が同一であっても、製造メーカーや銘柄、個体差による外径の違いがあるという事と、同一タイヤであっても装着するリム幅やタイヤ空気圧などによって、実際の外径は変わってきます。走行時は遠心力でもタイヤ外径は大きくなります。
　あくまで参考とし、表示されている速度に問題ないか確認を行ってからご使用下さい。

＝ポイント＝
スイッチの設定値を変化させずに、タイヤの外径を大きな物に変更すると、実際の速度より遅い速度を表示するようになります。
同様にタイヤの外径を小さな物に変更すると、実際の速度より速い速度を表示するようになります。

タイヤの外径は変更せずに、スイッチの設定値を大きく（例“９"→“Ａ"）すると、より早い速度を表示します。
同様に、設定値を小さく（例“９"→"８"）すると、より遅い速度を表示します。

従いまして、タイヤ外径を大きくする→スイッチの設定値を大きくする。タイヤ外径を小さくする→スイッチの設定値を小さくする。という事が基本になります。

また、設定値の変更は車両が完全に停止し、本体の緑ＬＥＤが消灯している時にのみ行って下さい。
車両走行中の設定値変更は出来ません。

⚠注意：装着しているタイヤサイズに対し、設定値が適正な値より小さい場合は、実際の車速よりも純正スピードメーターに表示される速度の方が遅いという事になり、スピード違反の原因となりますので特にご注意下さい。

SW設定値	参考タイヤサイズ	参考タイヤ直径（mm）
0	８０／９０－１０	４１３
1	3.00－１０　９０／９０－１０　１２０／７０－１０	４２３
2		４３３
3	１１０／６０－１２　3.50－１０　１００／９０－１０	４４３
4	１１０／９０－１０	４５３
5	９０／９０－１２	４６３
6	１２０／９０－１０　１００／８０－１２	４７２
7	１２０／７０－１２	４８２
８（標準）	**１１０／７０－１２**（純正サイズ） １３０／７０－１２　１００／９０－１２　１３０／６０－１３　１３０／９０－１０	４９２
9	１４０／７０－１２　１４０／６０－１３	５０２
A	１２０／８０－１２　１３０／７０－１３	５１２
B		５２２
C	１４０／７０－１３　１４０／６０－１４	５３１
D	１００／９０－１４	５４１
E	１５０／７０－１３	５５１
F	１４０／７０－１４	５６１

●ラバーキャップとパネルについて

・スピードメータードライブユニットのセッティングを行う際に、ロータリースイッチを回す時のみラバーキャップを取り外して下さい。

⚠ 注意：ラバーキャップ無しで走行すると、埃や水などが浸入しスピードメータードライブユニットが故障する原因となります。
走行時は必ずラバーキャップを取り付けるか、後述のパネルを取り付けて走行して下さい。

・セッティングの必要が無くなれば、スピードメータードライブユニットに出荷時に貼り付けてあるスイッチ部分が開いているパネルを剥がし、キット付属のスイッチ部分が透明の物に張り替えて頂く事で、防塵・防滴性能が向上し、無用のトラブルを防ぐ効果があります。

⚠ 注意：パネルを貼り付ける際は、スピードメータードライブユニット上面の８角の凹面内に、正確に貼り付けて下さい。
凹面からずれて淵部分にパネルが乗り上げてしまうと、隙間から埃や水などが浸入し、スピードメータードライブユニットが故障する原因となります。

●トラブルシューティング

イグニッションキーをＯＮにしても、スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.本体の緑ＬＥＤが点灯しない。	・キーＯＮで緑ＬＥＤが点灯・消灯した後は、消灯しているのが正常です。 ・キーＯＮ時に全く点灯しない場合は、ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.とサービスチェックカプラの接続、及びスピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.との３Ｐコネクタ接続に問題が無いか確認して下さい。また、弊社製ＦＩコン２を同時装着されている場合は、間違ってＦＩコン２ハーネスＣｏｍｐ.に接続していないか確認して下さい。
純正スピードメーターに速度が表示されない。 走行しても０ｋｍ／ｈ表示のままになっている。	・リアタイヤを回転させた時、ディスクボルトの通過に合わせてスピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.本体の緑ＬＥＤが点滅しているか確認して下さい。 ・点滅していなければ、金属反応式速度センサーがディスクボルトより離れすぎていないか、また３Ｐコネクタの接続に問題がないか確認して下さい。 ・タイヤの回転に合わせて緑ＬＥＤが点滅しているにも関わらず、純正スピードメーターの表示が出ない場合は、ＳＭＤハーネスＣＯＭＰ.の白コード（メスギボシ）と車体側白／赤コード（オスギボシ）の接続に問題が無いか確認して下さい。
走行すると純正スピードメーターに速度は表示されるが、値が不安定。	・金属反応式速度センサーとディスクボルトとの隙間が不適切かもしれません。隙間を調整してみて下さい。 ・Ｈ.Ｉ.Ｄ.を装着したりすると、この様な不安定な異常が出たり、スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.が破損する可能性がありますので、Ｈ.Ｉ.Ｄ.は絶対に使用しないで下さい。
社外品のＧＰＳ機器で表示される速度と比較すると、純正スピードメーターの表示の方が速く表示される。	・『比較対象ＧＰＳ装置の表示速度に誤差が無い』という事が前提ではありますが、純正スピードメーターは実測より速めに表示されるようになっております。従いまして、ある程度速く表示される事は正常と考えられます。
半分の速度が表示される。	・ディスクボルトの中央（６角ソケットの凹み部分）を金属反応式速度センサーが通過しなければ、正常な速度が表示できない仕様となっております。なんらかの理由でディスクボルトと速度センサーの位置がずれていないか、若しくはディスクボルト４本にマグネットを入れたりしていると半分の速度が表示される可能性があります。
実際の車速より表示される速度が遅く感じる。	・スピードメータードライブユニットＡｓｓｙ.の設定値がタイヤサイズに合致した値になっているか確認して下さい。ノーマルタイヤであれば“８"が基準となります。お買い上げ時のままの設定値“０"などになっていないか確認して下さい。
ロータリースイッチの設定値を変更しても、スピードメーターに表示される速度が変化しない。	・設定値の変更は車両走行中は出来ません。車両が完全に停止し、本体の緑ＬＥＤが消灯している時に設定値を変更して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp